

内容

カレンダーの内容を該当日にメール送信します。具体的には、カレンダー名/YYYY-MM-DD形式のページが保存される際にコマンドが at に与えられ、YYYY年MM月DD日の指定の時間に指定のアドレスにページソースがメールで送信されます。ページが削除されると at のキューから取り除かれます。

必要な環境

- ・ at が使えるシステム
- ・ wiki.cgi の実効ユーザが at を利用できること
- ・ mail, nkf

インストール

1. `plugin` ディレクトリと `lib` ディレクトリのファイルを設置する。
2. `config` ディレクトリにある `atschedule.dat` を編集し、設置する。
3. 管理画面から `atschedule` プラグインのチェックボックスを on にする。

ファイル構成

プラグインモジュール

`atschedule/Install.pm`

インストール用

`atschedule/HandleAt.pm`

at に処理内容を指定します。

lib 以下に置くモジュール

下記の CPAN モジュールを利用しています。展開したディレクトリ通りに lib にコピーしてください。

- ・ [Schedule-At](#)

設定ファイル

`atschedule.dat` を `config` に置きます。サンプル：

```
wikiid=test
command=nkf -j $^page | mail -s '$^subject' $^user
sendtime=0800,0700
tagname= カレンダー , スケジュール
users=foo@example.com,bar@example.com
subject= 本日のお勤め , スケジュールですよ
```

説明

```
command=nkf -j $^page | mail -s '$^subject' $^user
```

at に渡すコマンド。\$^page, \$^subject, \$^user は順に wiki データへのパス、タイトル、送り先に置換されます。通常修正の必要はありません。

tagnames= カレンダー名, カレンダー名2, ...

atschedule の処理対象となるカレンダー名を指定します。カレンダー名/YYYY-MM-DD が保存、削除される際に処理されます。カンマで区切ることで複数指定できます。

users=email アドレス1, email アドレス2, ...

送信先アドレス。カンマで区切ることで複数指定でき、tagnames での複数指定の順番に対応します。

subject= タイトル1, タイトル2, ...

メールのタイトル。カンマで区切ることで複数指定でき、tagnames での複数指定の順番に対応します。

sendtime=0800,0700

送信時間。hhmm で指定します。カンマで区切ることで複数指定でき、tagnames での複数指定の順番に対応します。

上記のサンプルではスケジュール 2004-12-20 は朝 7 時に bar@example.com にメールされます。

wikiid= ユニークな値

一つのサーバで複数の FSWiki を設置していて、同じカレンダー名を利用している場合に、識別の為に必要になります。複数 FSWiki を使用していないなら特に設定する必要はありません。また、wikifarm 親子間で同じカレンダー名を使っても識別に問題はありません(ただし設定ファイル自体は必要です)。

mod_perl での利用

wiki.cgi の

```
if(exists $ENV{MOD_PERL}){
```

のところで

```
eval("use Schedule::At");
```

を加えます。

留意点

- ・社内用に作ったもので、セキュリティについては考慮していません。ご利用の際は各自ご注意ください。